

令和8年度 地域交流部 事業計画

○重点方針に対する事業計画

1. 安心・安全のまちづくりの推進

- ・地域団体（助成金先や賛助会員や地域包括センター）との夏祭り事業を通してつながりを継続し相互協力していく
- ・敬老のお祝い品事業を通して、組内での状況把握やご近所を知ることという事に繋がる事への期待（組長は輪番形式が多いので、自然と組の状況把握に繋がる）

2. 町内会会員及び賛助会員増加のための働きかけ

- ・地域交流部としては夏祭りを利用して町内会のアピールを考えると共にそれ以上に町内会があって良かったと思える事業内容でありたい。
現在夏祭り事業・敬老事業が二大事業。
以前は、防災訓練等で「とん汁」をつくり伝統としていたがコロナ以降途絶えている。大鍋など機材はあるので復活したいが・・・

3. 町内会事業等の広報活動の強化・ホームページの活用

- ・地域の助成金団体の窓口なので、団体の活躍などを広報紙に記載してほしい。現在は年1回の活動報告なので、各団体活躍の時点で、年度始めの定期記載等・・・

4. 資源集団回収の実施・強化

- ・今年度は夏祭りで出た段ボールは各団体にもアナウンスし、環境部の協力を得て翌日片付けで回収、片付け当日中に提携業者に持っていった。今後継続したい。

5. 町内会組織編成の見直し

- ・女性部員から地域交流部員制になってから4年。毎年選出の為、地区長・組長・組そのものへの負担と共に地域交流部としても16名を掌握す等の負担が大きい。現状を踏まえて今後変更も視野に考えたい。
来年度はこのまま絶賛募集してください。
- ・夏祭りはOB・OG制を考え、年度で役員を交代された方にも声掛けできるようにしたい。

6. 地域の学校（小・中・高等学校等）並びに公共施設との交流を推進

- ・学校関係は夏祭りポスター、出店協力の継続願い
- ・公共施設は夏祭り設営・片付け協力・出演・出店等の協力の継続願い
- ・来年度は麻生総合高校が最終学年卒業の年なので夏祭りで協力しているか検討（2年前まではダンス出演してくれていました）

○独自の事業計画

1. 夏祭りの企画・実施 3月～8月

- ・夏祭りは各部との横の繋がりを体感できるイベントなので、企画会議の第1回は各部の部長の参加も希望したい。

- ・夏祭りお手伝いで繋げる OB・OG を計画
地区長任期が終了すると次年度から夏祭り招待状を送付しているが、お手伝いの勧誘をしたいです。
- ・期を跨いでの企画となるので、役員改選の年は引継ぎ強化。

2. 敬老のお祝い品企画・実施 5月～9月

- ・現在、対象の増加・物価の上昇に直面している
事業の目的は、敬老のお祝いは勿論のこと、組を通しての地域の繋がり
の促進等継続したい。
今後予算増加かお祝い品の単価下げ（現在、努力もあり一人あたり
約750円）
対象年齢の引き上げ？お祝い内容を安くしていく？対象年齢の特
定（77才・88才・90才以上？）等、検討が必要

夏祭り検討

- ・盆踊りの輪ができなくなってから何年かたつ。
盆踊りは継続したいので、曲目や輪でない形態を模索したい
- ・校舎側、出店団体の列の整理。現在、出店側に人が集中してしまうので、
お祝い掲示側に流れるように一般席の移動等考えたい。
- ・日曜日順延になった場合の実施
今年度は順延になった場合、お祭り時間のお手い不可や出演団体さん
からも相談があり。
日曜順延の場合は土曜日と同じようには開催が困難と熟知し、対応を
再考する必要がある。社会の変化：平日は勿論のこと土日もお仕
事の方が多い。
- ・今年度はこども会の簡易テント遺産もあり、組み立てテントを少しへら
せた。組み立てテントを簡易テントに移行するだせでテント設置にかか
る時間が大幅に減少でき、会場設営完了時間が劇的に早くなる。